

# 防災気象情報の活用について

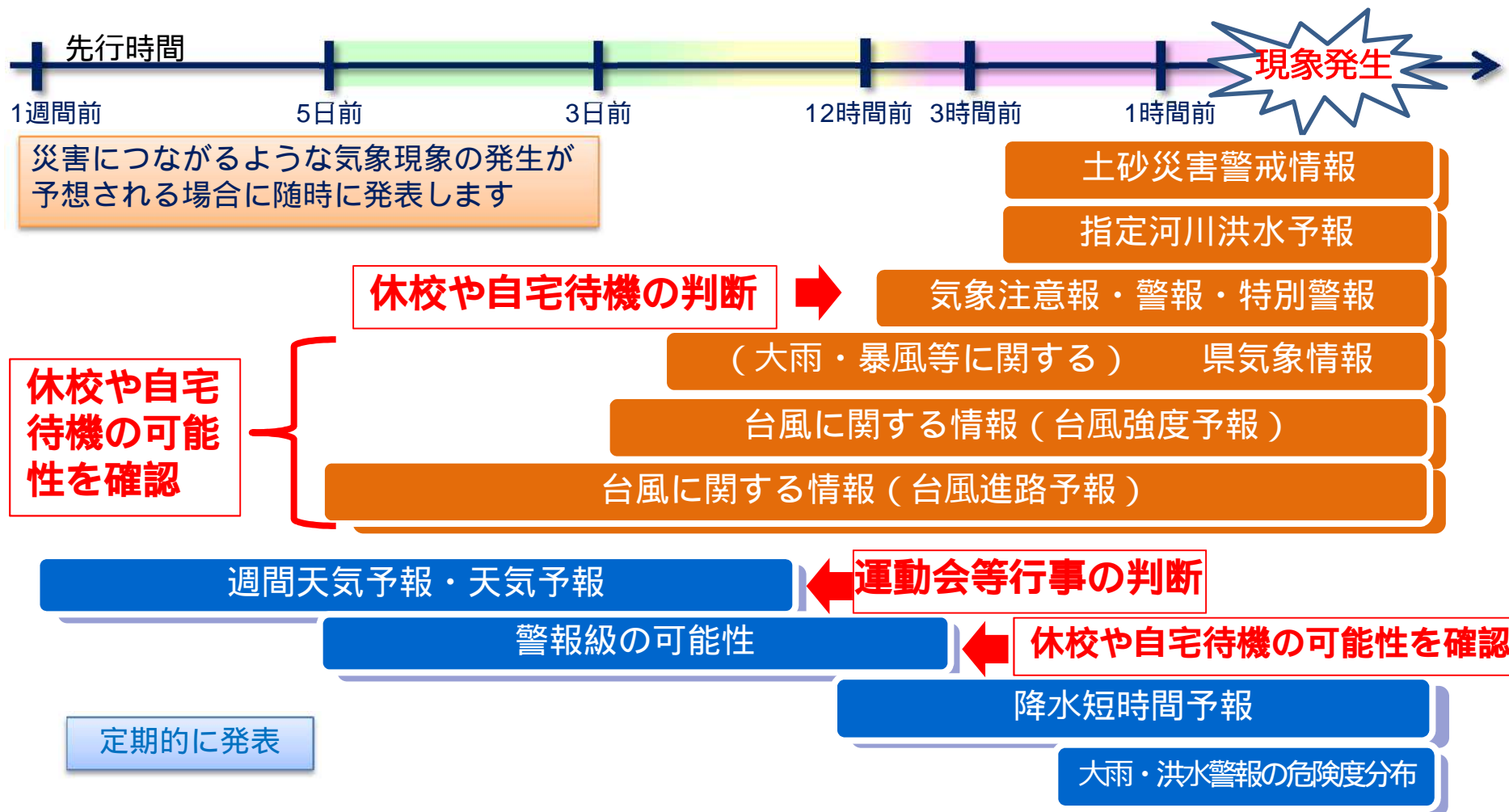
平成31年1月31日

平成30年度「学校安全総合支援事業」全国成果発表会

気象庁予報部予報課 気象防災推進室

防災気象官 村井 雅浩

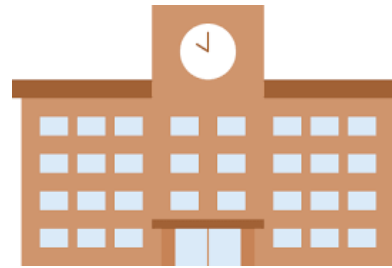
# 防災気象情報は予測精度を踏まえて、段階的に、より詳細に発表



気象庁では、現象が発生する前(予想)に防災気象情報を発表するよう努めています。  
 現象発生までの猶予時間が短くなるほど  
 [提供する情報]対象地域や期間、現象の強さ(雨量など)は正確になります。  
 [安全確保行動]状況が切迫し、避難等の安全確保行動の選択肢は狭まります。

# 気象情報の入手方法

## 国民



どのような方法で  
各種の防災情報を  
入手出来るか今  
一度ご確認を!!

### 気象庁・気象台HP



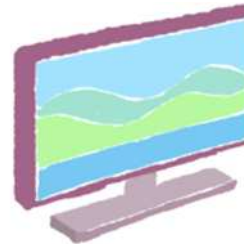
気象庁・気象台が発表する  
情報を掲載しています。

### 都道府県・防災関係機関 市町村・消防本部など



広報車や防災無線などで放送されるほか、  
都道府県や市町村の中にはメールで  
送ってくれるサービスをしているところ  
もあります。

### テレビ・ラジオ



テレビ（データ放送（“dボタン”）でも多くの情報が入手可能）やラジオなどで放送されます。

### 民間気象会社など

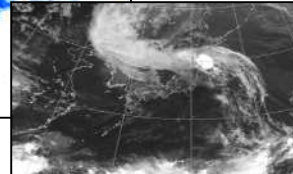
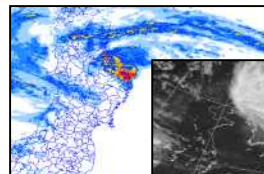


メールで送ってくれる  
サービスをしていると  
ころもあります。

### 地方気象台等



### 気象庁本庁



警報・注意報等の  
防災気象情報発表

# 警報級の可能性の情報



- ・ 5日先までに命に危険が及ぶような警報級の現象が予想されているときには、その可能性を[高][中]の2段階で発表します。
- ・ 何かあったらすぐに行動できるように心構えを一段高め、地元の自治体の情報や気象台が発表する今後の気象警報・注意報等に留意してください。

平成31年 X月X日XX時XX分 地方気象台発表

**県南部の警報級の可能性**  
南部では、2日までの期間内に[高]及び[中]はない。今後の情報に留意。

県南部	警報級の可能性						
	1日		2日	3日	4日	5日	6日
	夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く				
	12-18	18-6	6-24				
大雨	-	-	-	[中]	-	[中]	[中]
暴風	-	-	-	-	-	[中]	[中]
波浪	-	-	-	-	-		-

[高]：警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。

[中]：[高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性が[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

# 気象情報（警報・注意報に先立って発表）

気象状況

気象庁の情報

大雨の数日  
～  
約1日前

警報級の  
可能性

天気予報の  
発表地域  
ごとに発表

気象情報  
(随時)

大雨の  
半日～  
数時間前

大雨注意報

市町村単位  
で発表

危険度  
分布

大雨の  
数時間～  
2時間  
程度前

大雨警報

市町村単位  
で発表

土砂災害警戒情報

記録的短時間大雨情報

大雨  
特別警報

市町村単位  
で発表

・「警報や注意報に先立って現象を予告し、注意を呼びかける」役割があります。24時間から2～3日先に災害に結びつくような激しい現象が発生する可能性のあるときに発表します。

大雨に関する 県気象情報 第1号  
平成31年X月X日X時XX分 地方気象台発表

(見出し)

5日から7日頃にかけて、梅雨前線が日本付近に停滞し、活動が活発となる見込みです。このため、県では5日朝から局地的に雷を伴った激しい雨が降り、7日頃にかけて大雨となるおそれがあります。

気象の見通しを記述

(本文)

5日から7日頃にかけて、梅雨前線が日本付近に停滞し、この前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込むため、前線の活動が活発となる見込みです。

このため、県では5日朝から局地的に雷を伴った激しい雨が降り、7日頃にかけて大雨となるおそれがあります。土砂災害、浸水害、河川の増水に注意してください。

また、大気の状態が不安定となるため、落雷や突風にも注意が必要です。

< 雨の予想 >

5日に予想される1時間降水量は、多い所で

南部 40ミリ

北部 40ミリ

予想される雨量等の最大値を記述

4日18時から5日18時までの24時間降水量は、多い所で

南部 100ミリ

北部 100ミリ

その後も降水量は増える見込みです。

< 防災事項 >

土砂災害、浸水害、河川の増水、落雷、突風

警戒すべき防災事項を記述

今後、気象台の発表する警報、注意報、気象情報などに留意してください。  
次の「大雨に関する 県気象情報」は、5日6時頃に発表する予定です



# 注意報 (警報の発表が見込まれる場合はその旨を明記)



・注意報は災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。また、警報級の現象が概ね6時間以上先に予想されているときには、警報の発表に先立って、**警報に切り替える可能性が高い注意報**を発表することとしています。

平成30年 X月XX日XX時XX分 地方気象台発表

**市 [発表]大雨注意報 [継続]雷, 強風, 波浪, 高潮注意報**

**特記事項 土砂災害注意**

30日夜遅くまでに**大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い**

30日夜遅くまでに**暴風警報に切り替える可能性が高い**

30日夜遅くまでに**波浪警報に切り替える可能性が高い**

土砂災害 警戒期間 30日夜遅くから 1日未明まで  
 注意期間 1日未明まで

雷 注意期間 1日明け方まで

風 警戒期間 30日夜遅くから 1日未明まで  
 注意期間 1日朝まで

南の風  
 陸上 最大風速 25メートル  
 海上 最大風速 35メートル

波 警戒期間 30日夜遅くから 1日朝まで  
 注意期間 1日夕方にかけて 以後も続く  
 ピークは30日夜遅く  
 波高 10メートル

高潮 注意期間 1日3時頃まで  
 ピークは30日18時頃  
 最高潮位 標高 0.7メートルの高さ

付加事項 竜巻 うねり

警報に切替える  
可能性が高い場合は  
その旨、明記されます

# 注意報 (警報の発表が見込まれる場合はその旨を明記)

## 気象状況

## 気象庁の情報

- ・ 注意報は、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。
- ・ 警報の発表が見込まれる場合は、その旨を記述します。

大雨の数日  
～  
約1日前

### 警報級の可能性

天気予報の発表地域ごとに発表

### 気象情報 (随時)

大雨の半日～  
数時間前

### 大雨注意報

市町村単位で発表

### 危険度分布

大雨の数時間～  
2時間程度前

### 大雨警報

市町村単位で発表

### 土砂災害警戒情報

### 記録的短時間大雨情報

### 大雨特別警報

市町村単位で発表

平成31年 X月28日05時10分 地方气象台発表

県の注意警戒事項  
地方では、低い土地の浸水や、強風、高波、竜巻などの激しい突風や落雷に注意してください。

### XX市 [継続] 大雨, 雷, 強風, 波浪注意報

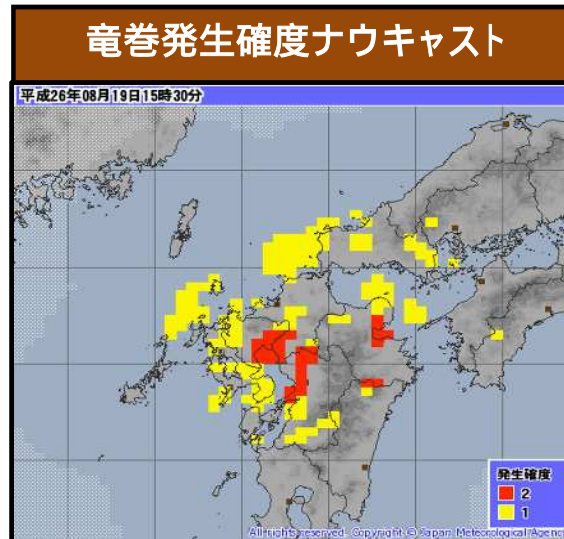
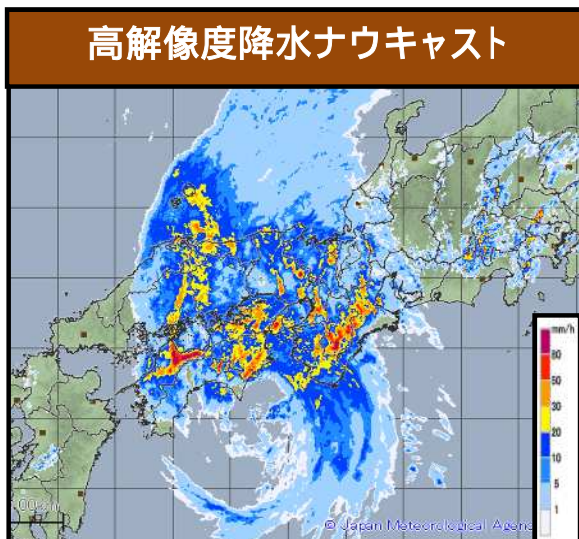
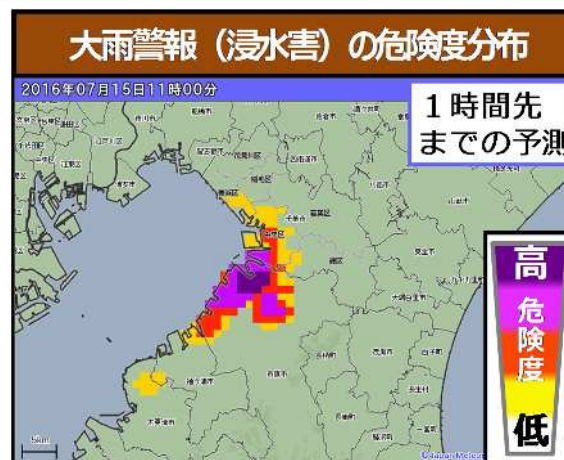
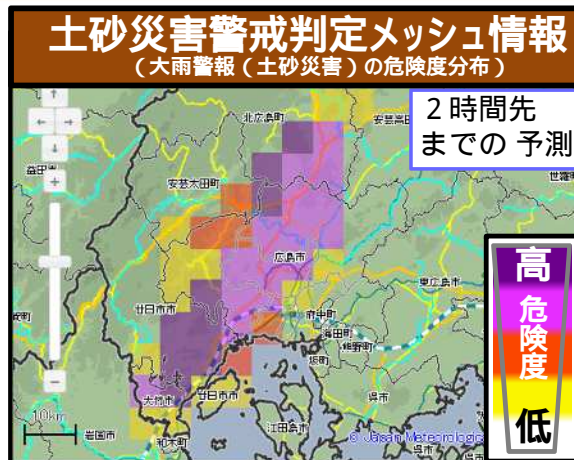
- 28日昼過ぎまでに大雨警報(浸水害)に切り替える可能性が高い
- 28日夕方までに暴風警報に切り替える可能性が高い
- 28日夕方までに波浪警報に切り替える可能性が高い

XX市 発表中の 警報・注意報等の種別		今後の推移(■警報級 ■注意報級)								
		28日						29日		
		6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9
大雨	1時間最大雨量 (ミ)	20	30	50	50	50	30			
	(浸水害)									
強風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	15	20	20	25	25	18	13	13
		海上	15	20	20	25	25	18	13	13
波浪	波高 (メートル)	1.5	2.5	2.5	3	3	2	1.5	1.5	
雷										

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。  
 ■で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。  
 各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。  
[警報・注意報\(文章形式\) ^](#)

# どこで危険が迫っているか確認してください

大雨、洪水警報が発表された市町村内において、実際にどこで危険度が高まっているか（学校の周辺、通学路、自宅の周辺など）を確認してください。





## 素因を知ること

### 素因

災害には、起こりやすい場所があります。

(例)

崖や溪流の近く

土砂災害のおそれ

川の近くの低地

氾濫による浸水のおそれ

都市部の地下施設

大量の雨水による水没のおそれ

海岸堤防の近く

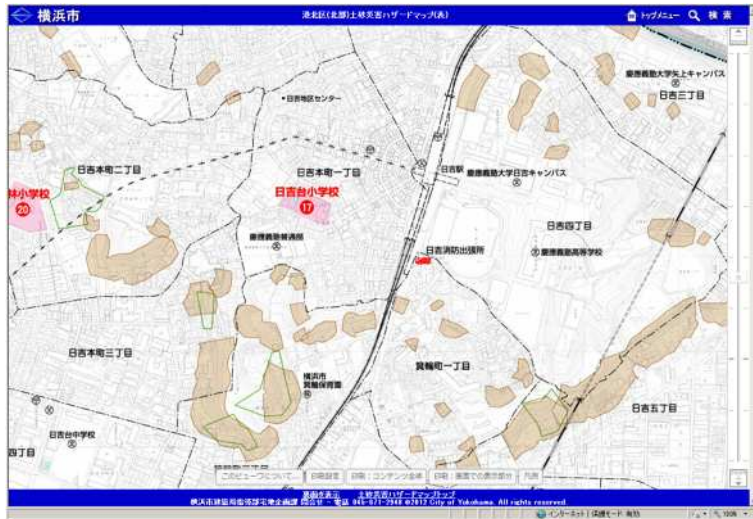
高波や高潮のおそれ

その土地の素因を知っているのと、知らないのとでは、防災対応に大きな差が生じます。時には生死を分けることも。

素因は、あらかじめハザードマップなどで調べることができます。

# ハザードマップの活用

土砂災害ハザードマップの例（横浜市HPより）



内水による浸水ハザードマップの例（東京都江戸川区HPより）



## 防災まち歩き



（名古屋市HPより）

通学路等を実際に回り、  
「登下校時に危ないところはないか？」  
「過去に災害のあった場所はないか？」  
等を確認。児童・生徒と一緒に回ると効果的！

# 防災教育に使える副教材・副読本ポータル

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

キーワードを入力し検索ボタンを押下ください。

HOME 防災情報 各種データ・資料 **知識・解説** 気象庁について 案内・申請

ホーム > 知識・解説

知識・解説

全般 災害から身を守る

よくある質問集  
特別警報について  
気象庁情報カタログ

「新たなステージ」に対応した防災気象情報の改善  
台風や集中豪雨から身を守るために  
急な大雨や雷・竜巻から身を守るために

安全知識の普及啓発に関する取組  
気象庁ワークショップ「大雨、その時どうする？」  
地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップ  
防災教育に使える副教材・副読本ポータル (【対象年齢別】、【現象別】、【形態別】、【作成者別】)

HOME 防災情報 各種データ・資料 **知識・解説** 気象庁について 案内・申請

ホーム > 知識・解説 > 防災教育に使える副教材・副読本ポータル

防災教育に使える副教材・副読本ポータル

対象年齢別 現象別 形態別 (カルタ、絵本等) 作成者別

防災教育支援に係る副教材等の各種補助教材を「対象年齢別」に表示しています。

幼稚園児・保育園児向け

日本赤十字社 学校向け教材・資料  
みんなの防災  
防災紙芝居  
防災絵本



気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」概要

グループワークによるコミュニケーション (各グループ毎に地形、住居、家族構成等、違いを設定)

ファミリーリーダー (司会・進行等) 専門家 (質問・回答によるコミュニケーション)

グループ間の質疑によるコミュニケーション 参加者 (5~6人に分かれてグループワーク)

目録を合わせた深い質疑で、わかりやすい安全知識、防災知識・意識の解説

参加者と参加者が近い距離で、質問を交えながら進めるわかりやすい解説

少人数のグループに分かれ、様々な意見をまとめて対応を考えるグループワーク

アンケート結果例  
問:大雨被害から身を守るための知識を身につけていると思いますか?

お問い合わせ先:気象庁総務部情報利用推進課(電話03-3112-8341(内線4230))

気象庁HPに防災教育を支援する各種教材を掲載していますので、ご活用願います

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/fukukyousai/index2.html>